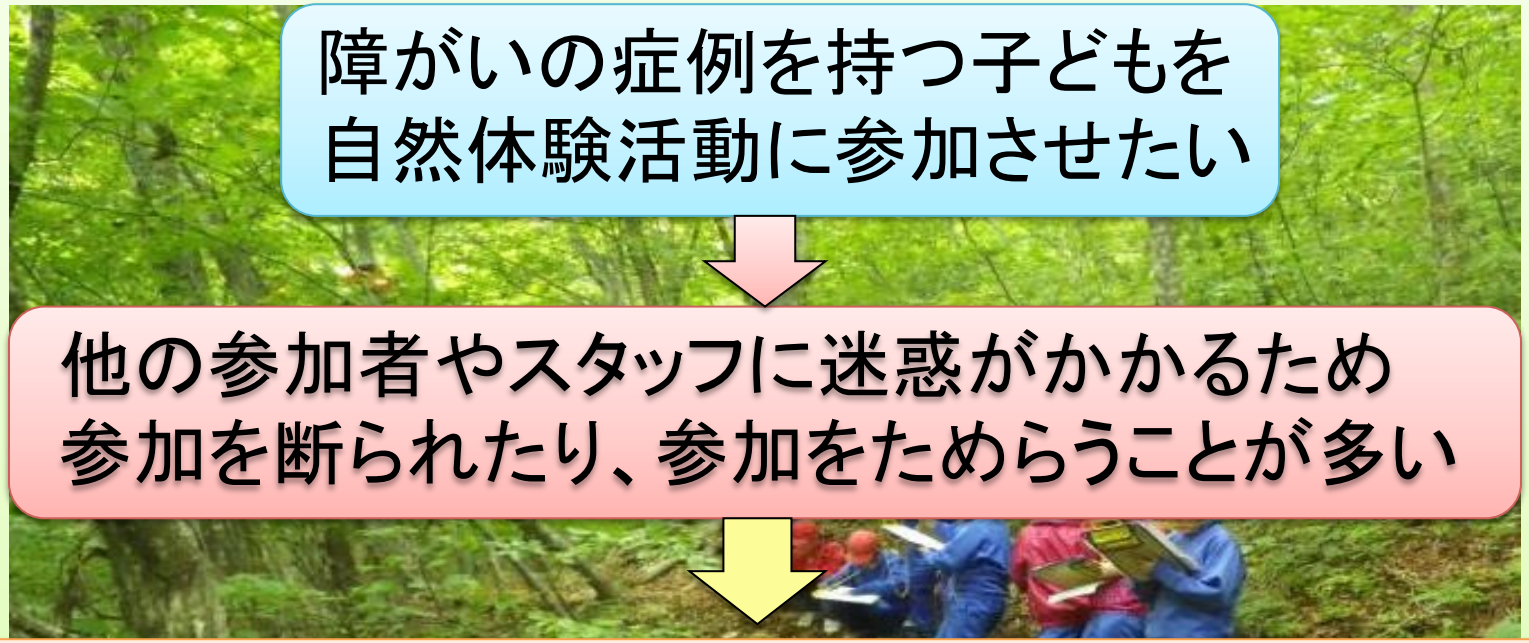
産学協同プロジェクト
ユニバーサル・キャンプの実用化に向けて

動物園動物飼育専攻

里村碧海、小林勇人、坂井未来
河野有里、中川槙一郎、西山直樹

ユニバーサル社会

年齢、性別、障害、文化などの違いにかかわりなく、だれもが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会



本研究は、誰でも参加できる自然体験活動のプログラムをつくることによって障がいのある人への自立と社会参加の支援を行うことを目的とする

ユニバーサルキャンプとは

産学協同プロジェクトとして実施

NPO法人ナック(NAC)からの企業課題

NPO法人ナックは、『子どもたちが自然とのふれあいを通して（Nature）未知のものに挑戦する意欲や（Adventure）自分自身を成長させる力を育むこと（Culture）』を目的として活動している

ユニバーサルキャンプは、キャンプなどの自然体験活動を体験することにより、「自立心」を育むことを期待している

発達障がいについて

自 閉 症

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり

注意欠損多動性障がい

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁
  （じっとしてられない）
- 衝動的、に行動する
  （考えるよりも先に動く）

自閉スペクトラム症

- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- 不器用
- パターン化した行動
- 興味・関心のかたより

学習障がい

- 基礎的な知的発達の遅れ
  はない
- 言語能力の困難
- 算数能力の困難

ユニバーサルキャンプ実施に向けての準備

- 発達障がいの理解や配慮の整理
- プログラムの企画立案
- 保護者との事前打ち合せ

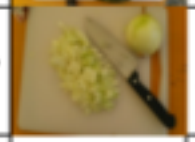
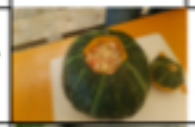
詳細な事前案内の作成

◆お昼ご飯のメニュー①

～かぼちゃの肉詰め～

材料

- かぼちゃ
- タマネギ
- ミンチ肉
- コンソメの素
- 塩・コショウ
- 焼き肉のたれ
- 卵

1		かぼちゃのへたをくりぬく
2		中の種をとる
3		たまねぎを細かく切る
4		たまねぎと肉をまぜて、卵、コンソメキューブ、塩こしょうを入れる。 それをこねたら鉄板でいためながら焼き肉のたれをかける
5		かぼちゃに炒めた肉を入れてへたでふたをする
6		ダッチオーブンで蒸す
7		かぼちゃの肉詰めのできあがり!!
8		みんなでおいしくたべよう♪

実施に際して気を付けたこと

声かけの変換

「走るのはダメだよ」 ⇨ 「歩いてね」

長い説明を簡略化

「かぼちゃのへたをくりぬいて中の種を取る」

⇩

「かぼちゃのへたをくりぬく」

「中の種を取る」

ユニバーサル・キャンプ

【場　所】八尾市立大畑山青少年野外活動センター

【実施日】2015年10月18日

【参加児童】7名(昨年に引き続き2回目の参加)

・発達障がい児 6名（1名は歩行障がいも有する）

・健常児 1名

【スタッフ】 8 名

NPO法人ナック	1名
学生（大阪ECO）	6名
ボランティア	1名

大畑山青少年野外活動センター

ユニバーサル・キャンプのプログラム

時間	スケジュール
10:00	開会式
10:15	アウトドア・クッキング 丸ごとかぼちゃの肉詰め ハムとチーズのパリパリ餃子
12:30	昼食
13:30	動物の痕跡探しプログラム
15:00	おやつを食べる（焼き芋とアイス）
15:30	閉会式

アウトドア・クッキング

丸ごとかぼちゃの肉詰め

ぱりぱり餃子

火おこし

飯盒炊さん

昼　食

動物の痕跡探しプログラム

イノシシの足跡

地図を見ながら捜索

イノシシの頭骨探し

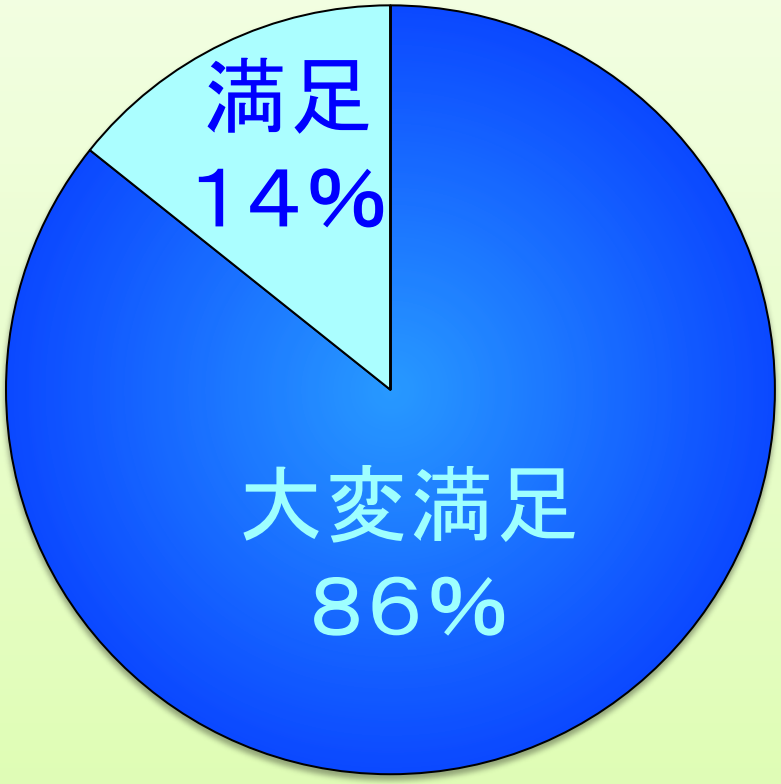
おやつ

- 焼き芋
- バニラアイス

アンケート結果

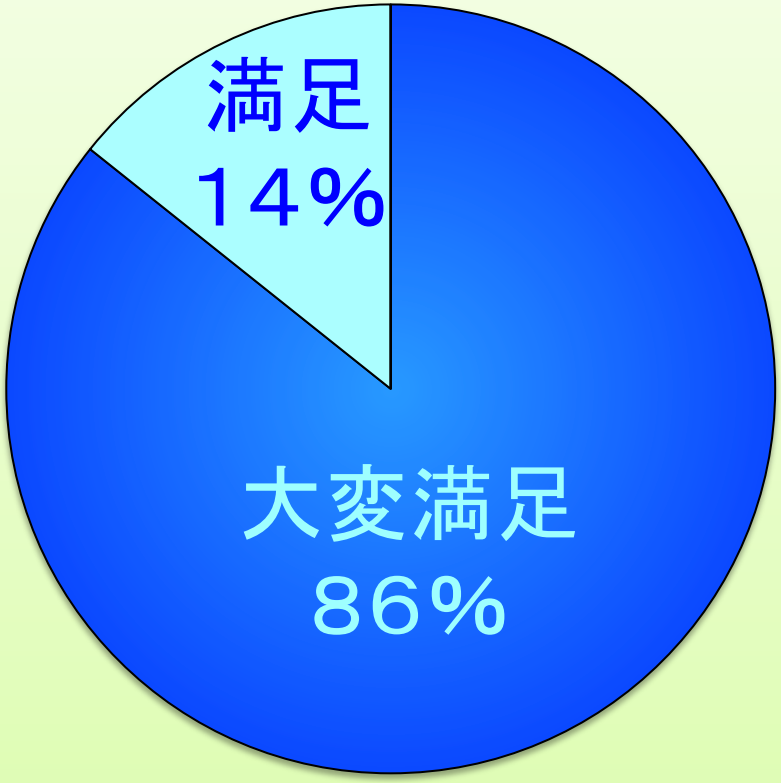
アンケート１

「プログラムの内容は
いかがでしたか？」



アンケート２

「スタッフの対応は
いかがでしたか？」



アンケート結果

アンケート 3:「昨年と比べていかがでしたか？」

回答:「火をおこす経験をさせてもらえて良かった」

- 活動の内容が昨年よりレベルアップしていて良かった
- 子ども達が前回よりも積極的に参加してくれていた

キャンプ参加後の子ども達の変化

保護者からの聞き取り調査

【自閉症児の事例】

イライラしたり、パニックになることなく、穏やかな状態がしばらく続いた

【歩行障がい児の事例】

母親にべったり甘えていたのが、少なくなった

参加者のうち86%の子ども達に
このような陽性変化が認められた

次年度のプログラムに向け
さらなる発展を目指して

- 成長段階に応じたプログラム内容の作成
- 低年齢期の子どもを持つ保護者の負担減
- それぞれが持つ個性の1つとしての理解促進

・本活動は障がいのある子どもの自立支援に有効

・来年度も後輩が継続予定